

# 平成28年度ダイオキシン類の測定結果

## 1 常時監視

大気、水質、底質、地下水及び土壌について、前年度に引き続き、全ての地点で環境基準を達成しました。

表1 常時監視結果

測定媒体		測定地点数	測定結果 (濃度範囲)	環境基準	単位	備考	
大気		6 (1)	0.0060 ~ 0.012	0.6	pg-TEQ/m <sup>3</sup>	大気の濃度範囲は各測定地点における年間平均値を記載。	
公共用水域	水質	河川	1 3 (4)	0.020 ~ 0.10	1		pg-TEQ/L
		海域	2	0.032 ~ 0.046			
		全体	1 5 (4)	0.020 ~ 0.10			
	底質	河川	1 1 (2)	0.096 ~ 3.5	150		pg-TEQ/g
		海域	2	0.35 ~ 0.74			
		全体	1 3 (2)	0.096 ~ 3.5			
地下水		7 (3)	0.019 ~ 0.053	1	pg-TEQ/L		
土壌		9 (5)	0.024 ~ 3.6	1,000	pg-TEQ/g		

注) 測定地点数における括弧内の数字は宮崎市分の内数である。

## 2 発生源検査

### (1) 大気基準適用施設

#### ア 自主検査

##### (ア) 排出ガス

測定結果の報告があった施設については、廃棄物焼却炉3施設が排出基準を超過していたため改善を指導し、2施設は改善が確認され、1施設は改善指導中です。

##### (イ) ばいじん

測定結果の報告があった廃棄物焼却炉のうち、1施設が埋立処分基準である3ng-TEQ/gを超過したため、廃棄物処理法の処理基準に基づく処分を指導しており、適正に処分されています。

##### (ウ) 燃え殻

測定結果の報告があった施設については、全て排出基準以下でした。

#### イ 立入検査

立入検査した施設については、廃棄物焼却炉2施設の排出ガスが排出基準を超過していたため改善を指導し、1施設は改善が確認され、1施設は改善指導中です。

表2 大気基準適用施設の検査結果

特定施設の種類の種類	検査媒体	自主検査施設数		立入検査施設数
		対象	報告	
アルミニウム合金製造施設	排出ガス	1	1	1
廃棄物焼却炉	排出ガス	6 7	6 7	4 1
	ばいじん		5 7	
	燃え殻		6 3	

注) 検査対象施設は、廃止施設(0)、休止施設(4)及び未報告(1)を除く。

また、「ばいじん」については、6施設が測定不能施設であり、「燃え殻」については、2施設が測定不能施設となっています。

### (2) 水質基準適用事業場

#### ア 自主検査

測定結果の報告があった事業場については、全て排出基準以下でした。

#### イ 立入検査

全ての事業場について、排出基準以下でした。

表3 水質基準適用事業場の検査結果

特定施設の種類の種類	検査媒体	自主検査事業場数		立入検査事業場数
		対象	報告	
硫酸塩パルプ漂白施設	排水水	1	1	1
廃棄物焼却炉に係る灰貯留施設		1	1	1
下水道終末処理施設		3	3	2
共同排水処理施設		1	1	1